

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	ECC 国際外語専門学校
設置者名	学校法人山口学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
語学ビジネス専門課程	国際キャリア学科 国際エアラインコース	夜・通信	2700	240	
	国際キャリア学科 グローバル英語コース	夜・通信	2700	240	
	国際キャリア学科 国際ホテルコース	夜・通信	1800	240	
	国際キャリア学科 海外インターンシップコース	夜・通信	2820	240	
	アジア言語学科 韓国語コース(新) アジア言語コース(旧)	夜・通信	2010	160	
	エアライン学科 エアラインコース	夜・通信	1800	160	
	国際ビジネス学科 大学編入コース	夜・通信	4350	160	

	グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻（新） 国際貿易専攻/国際物 流・通関士専攻（旧）	夜・ 通信	1860	160	
	グローバル学科 総合英語コース	夜・ 通信	1800	160	
	グローバル学科 グローバルビジネ スコース	夜・ 通信	2040	160	
	グローバル学科 グローバルホテル コース	夜・ 通信	1920	160	
	こども教育研究学 科こども教育コー ス	夜・ 通信	3660	320	
<p>（備考）</p> <p>※1 国際キャリア学科海外インターンシップコースは、希望業種による科目選択制となり、科目を合算した時間数を記載</p> <p>※2 国際ビジネス学科大学編入コースは、科目選択制となり、科目を合算した時間数を記載</p> <p>国際物流・通関士専攻は募集停止。</p>					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ：<http://www.ecc.ac.jp/syllabus/kokusai/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	ECC 国際外語専門学校
設置者名	学校法人山口学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表 http://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-about.pdf 6 ページ参照
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	元大阪府議会議員 (1983. 5. 1 ~ 2011. 4. 31)	1991. 11. 15 ~2024. 3. 31	学校経営に関する こと
非常勤	税理士事務所経営 (1984. 6. 1~)	2010. 6. 1 ~ 2024. 3. 31	財務に関すること
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	ECC 国際外語専門学校
設置者名	学校法人山口学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 本校では教科主任教員がカリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの授業計画も3月中に教員間で共有され、学生には初回授業で配布説明されている。また、Webサイト上でも全ての必修科目の授業計画が公開されている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://www.ecc.ac.jp/syllabus/?exec=search&New=1&school_id=1
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 山口学園教務規約にて、以下の通り記載し、HANDBOOK掲載によって学生および保護者に伝えている。</p> <p>第4章 単位認定</p> <p>第7条(単位認定方法) 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。</p> <p>(1) 授業出席率が75%(アーティスト美容専門学校美容科実習科目は80%)以上であること。</p> <p>(2) 総合評価点が60点以上であること。</p> <p>第8条(総合評価点) 各授業または単元終了時の「テストの点数」及び授業の取り組み状況から決定される 「平常点」・「課題点」から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。</p> <p>第9条(平常点・課題点) 平常点と課題点は、授業の取り組み状況から決定される。点数配分は各科目の内容により異なる。</p> <p>第10条(学期末試験・評価) 各科目の評価は前期・後期それぞれの期末に実施する。評価結果は保護者または保証人に郵送通知する。(アーティスト美容専門学校美容科通信課程を除く)</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

山口学園教務規約にて、以下の通り記載し、HANDBOOK掲載によって学生および保護者に伝えている。また、Webサイトでも公開している。

第4章 単位認定

第11条 (成績評価ランク)

算出された総合評価点に基づき、下記のように成績評価ランクを決定する。

総合評価点	ランク	グレードポイント	合否	基準
90点～100点	A	4.0	合格	特に優れている。
80点～89点	B	3.0	合格	優れている。
70点～79点	C	2.0	合格	一定の水準を満たしている。
60点～69点	D	1.0	合格	最低限の理解をしている。
0点～59点	F	0.0	不合格	学習目標に達していない。

GPA の適用

GPA とは“Grade Point Average”の略で、学生の成績評価方法の一つであり、本学園では学生自身が学習効果を数値化して把握するため、GPA を適用している。履修した科目の評価「A」、「B」、「C」、「D」、「F」に対して、それぞれ「4」、「3」、「2」、「1」、「0」の GP (Grade Point) を与え、取得したポイント (GP×単位数) の合計を履修登録された総単位数で割った、1 単位あたりの成績の平均値である。

GPA の算出方法

$(4 \times \text{「A」の単位数} + 3 \times \text{「B」の単位数} + 2 \times \text{「C」の単位数} + 1 \times \text{「D」の単位数} + \text{「F」の単位数} \times 0) \div \text{総履修登録単位数}$

※特別単位はGPAの計算に算入されない。

客観的指標に関する判定に GPA を利用する際は、各校で当該単年度の全学生 ※を母集団として算出する。

客観的な指標の
算出方法の公表方法

HANDBOOK に掲載し、Web サイトでも公開
https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/eddkcfl_HANDBOOK2023.pdf
 ※27ページ目参照

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教育目標に基づいたディプロマポリシー・カリキュラムポリシーを分野ごとに定めており、HANDBOOK 掲載によって学生および保護者に伝えていると同時に、Web サイトでも公開している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>HANDBOOK に掲載し、Web サイトでも公開 https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/eddkcfl_HANDBOOK2023.pdf ※6～19ページ目参照</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	ECC 国際外語専門学校
設置者名	学校法人山口学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-finance002.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-finance001.pdf
財産目録	https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-finance003.pdf
事業報告書	https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-project.pdf
監事による監査報告（書）	https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/gakuen-finance004.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	エアライン学科 エアラインコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,740 単位時間/単位	60 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		24人	0人	4人	7人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。

【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
(概要) 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
46人 (100%)	0人 (0%)	46人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ANA 大阪空港、ANA 沖縄空港、ANA 関西空港、JAL スカイ、JAL スカイ大阪、K グランドエクスパート、K スカイ、エアトラベル徳島、エスエーエス、加治屋自動車、空港ターミナルサービス、サンヨー航空サービス、スカイマーク、徳島航空サービス、ドリームスカイ名古屋、にしけい、羽田空港サービスグループ、びわ桜、JAL ナビア、鴻池運輸、東京国際エアカーゴターミナル、日航関西エアカーゴ・システム、欽山、ミリアルリゾートホテルズ、オンワード樫山			
(就職指導内容) 就職関連授業(ES・筆記・面接対策、エアラインリサーチ、プレゼンテーション、エアラインTOEIC、CA 補講他)、各種ガイダンス、卒業生との交流会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会他明会/選考会他			
(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(準1級)2名、実用英語技能検定(2級)1名、実用英語技能検定(準2級)5名、サービス接遇検定(準1級)12名、TOEIC(600以上)27名、アマデウスシステム検定試験(specialist)14名、マナー・プロトコール検定(3級)8名、ユニバーサルマナー検定(3級)13名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	3人	4.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、学力不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	語学・ビジネス専門	こども教育研究学科 こども教育コース		○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3, 420 単位時間/単位	3,450 単位時間/単位	150 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		3, 600 単位時間/単位					
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
94人	32人	0人	3人	29人	32人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
9人 (100%)	1人 (11.1%)	5人 (55.6%)	3人 (33.3%)
（主な就職、業界等） アイグラン、JPホールディングスグループ日本保育サービス、ハーモニープリスクール 社会福祉法人あけぼの会登りこども園、わかばみや保育園 釜山大学（進学）			
（就職指導内容） こども保育就職対策（幼稚園/保育園/インターナショナルスクール受験用）、公務員試験対策、ビジネスマナー			

(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(2級) 3名、実用英語技能検定(準2級) 1名、TOEIC(600以上) 9名、保育士資格(9名)、幼稚園教諭一種免許状(9名) (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
37人	1人	2.7%
(中途退学の主な理由) 意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	グローバル学科 国際ビジネスコース 国際貿易専攻(新) 国際貿易専攻/国際物流・通関士専攻(旧)	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,800 単位時間/単位	0 単位時間/単位			
			1,800単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
63人		17人	9人	3人	6人	9人	

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画) (概要) カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法 (概要) 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準 (概要) 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。

学修支援等 (概要) 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HR を活用した全体指導、学生相談室常設
--

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
22人 (100%)	0人 (0%)	19人 (86.4%)	3人 (13.6%)
(主な就職、業界等) カミックス、太陽物産、アデコグループ、日本国際観光、マンパワーグループ、ANA Cargo エクスぺダイターズ・ジャパン、近鉄コスモス、スコアジャパン、阪急阪神エクスプレス、フェデラルエクスプレスジャパン、アール・ケイ、井上食品、グリーンオーナメント、モトヤマ、矢崎総業、ヤハタ			
(就職指導内容) 就職個別面談、就職関連授業(業界研究、ES・筆記・面接対策、他)、各種ガイダンス、物流施設見学、eラーニング説明会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会、受験サポート、ビジネスマナー、就労ビザセミナー他			
(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(2級) 5名、実用英語技能検定(準2級) 4名、TOEIC (600以上) 17名、日商簿記検定(3級) 1名、国際航空貨物取扱士2名、PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験(上級) 2名、貿易実務検定(B級) 8名、貿易実務検定(C級) 8名、日商ビジネス英語検定(3級) 1名			
(備考) (任意記載事項) 国際物流・通関士専攻は募集停止。			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
35人	2人	5.7%
(中途退学の主な理由) 意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	語学・ビジネス専門	グローバル学科 グローバルビジネス コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,650 単位時間/単位	150 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
144人	67人	67人	3人	6人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
41人 (100%)	2人 (4.9%)	37人 (90.2%)	2人 (4.9%)
（主な就職、業界等） 白ハト食品工業、太洋工作所、スイスポートジャパン、羽田エアポートエンタープライズ、H&I Management、ヒラノ・スカイ・サポート、ケイ・ブックス、チェーズNEXT、リゾートライフ、グローバルトラストネットワークス、八尾トーヨー住器、茨木精機、豊国、くれおーる、エスアイエススターゲイトホテル、日産レンタリース阪南、G-7ホールディングス、進栄化成、JHSS、タコール、ECL、豊産業、アール・ケイ、破天荒、Asia-Pacific Produce、気楽人、追手門学院大学（進学）			
（就職指導内容） 就職個別面談、就職関連授業(就職活動マナー全般、業界研究、自己分析、ES・履歴書・筆記サポート、面接対策、他)、各種ガイダンス、ホテル施設見学、学内企業説明会/選考会、外国人向け人材会社登録サポート、個別面談、受験サポート、就労ビザセミナー、ビザ切り替えサポート他			

(主な学修成果(資格・検定等)) 日本語能力試験(N1) 1名、日本語能力試験(N2) 9名、BJT ビジネス日本語能力テスト(J2) 11名、BJT ビジネス日本語能力テスト(J3) 34名、ユニバーサルマナー検定(3級) 82名、グローバル人材ビジネス実務検定(3級) 33名、TOEIC (600以上) 28名 (備考) (任意記載事項)
--

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
96人	4人	4.2%
(中途退学の主な理由) 進路変更、体調不良、家庭事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者(来校、TEL)会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	グローバル学科 グローバルホテルコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,740 単位時間/単位	60 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,800単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
46人	12人	11人	3人	4人	7人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
(概要) 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得

しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
(概要) 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HR を活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) スカイマーク、羽田エアポートエンタープライズ、アゴーラ ホスピタリティーズ、大阪セント・レジス・ホテル、Centara Osaka Japan、エスアイエススターゲイトホテル、更紗ホテル			
(就職指導内容) 就職個別面談、就職関連授業(就職活動マナー全般、業界研究、自己分析、ES・履歴書・筆記サポート、面接対策、他)、各種ガイダンス、ホテル施設見学、学内企業説明会/選考会、外国人向け人材会社登録サポート、個別面談、受験サポート、就労ビザセミナー、ビザ切り替えサポート他			
(主な学修成果(資格・検定等)) BJT ビジネス日本語能力テスト(J2) 2名、BJT ビジネス日本語能力テスト(J3) 6名、グローバル人材ビジネス実務検定(3級) 9名、ユニバーサルマナー検定(3級) 12名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	2人	8.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
文化・教養	語学・ビジネス専門	国際ビジネス学科 大学編入コース	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技

2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,770 単位時間/単位	30 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			1,800 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
163人	98人	0人	7人	17人	24人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
(概要) 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
(概要) 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
69人 (100%)	63人 (91.3%)	0人 (0%)	6人 (8.7%)
(主な就職、業界等)			
【国立大編入】 愛媛大学(法文学部)2名/宇都宮大学(国際学部)1名/高知大学(人文社会学部)1名/香川大学(経済学部)1名/滋賀大学(経済学部)2名/奈良女子大学(文学部)1名/新潟大学(経済科学部)1名/島根大学(法文学部)2名/富山大学(経済学部)1名/和歌山大学(経済学部)1名			
【公立大編入】 大阪市立大学(文学部)1名/北九州市立大学(外国語学部)1名			
【私立大編入】 追手門学院大学(国際教養学部)1名/追手門学院大学(社会学部)1名/大阪産業大学(国際学部)1名/大阪学院大学(法学部)1名/大阪経済大学(経営学部第2部)1名/大阪経済大学(情報社会学部)1名/大阪経済法科大学(人間科学部)1名/大阪経済法科大学(国際学部)1名/金沢学院大学(文学部)1名/関西外国語大学(外国語学部)4名/関西大学(社会学部)1名/関西大学(総合情報学部)3名/京都外国語大学(外国語学部)3名/京都産業大学(文化学部)1名/近畿大学(経営学部)8名/近畿大学(経済学部)2名/近畿大学(法学部)3名/近畿大学(総合社会学部)1名/近畿大学(通信教育部法学部)1名/甲南女子大学(文学部)1名/甲南女子大学(国際学部)1名/大東文化大学(国際関係学部)1名/中央			

大学（経済学部）2名/同志社大学(社会学部)1名/同志社大学(商学部)1名/東京女子大学(現代教養学部)1名/日本大学(国際関係学部)1名/日本大学(経済学部)1名/阪南大学(国際コミュニケーション学部)2名/法政大学(法学部)1名/松山大学(人文学部)1名/桃山学院大学(経営学部)2名/桃山学院大学(経済学部)1名/桃山学院大学(国際教養学部)4名/桃山学院大学(法学部)3名/龍谷大学(経済学部)1名/龍谷大学(社会学部)1名/龍谷大学(政策学部)2名 【進学】大阪音楽大学短期大学部ジャズ科1名、大阪府立夕日丘高等職業技術専門校ビル設計監理科 (就職指導内容) 基本英書講読、人文科学各分野入門授業・基礎ゼミナール、論文演習、各専門別英書講読(法学・政治政策学・経済学・経営学・社会学・心理学・言語文化・国際関係)、各専門別研究指導、専門演習、専門分野応用授業等及び、編入対策面接指導、志望理由書、研究計画書作成指導他 (主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(準1級)3名、実用英語技能検定(2級)22名、実用英語技能検定(準2級)12名、TOEIC(600点以上)42名 (備考)(任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
123人	5人	4.1%
(中途退学の主な理由) 体調不良、意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	グローバル学科 総合英語コース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,800 単位時間/単位	0 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
	1,800単位時間/単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
117人		54人	0人	4人	3人	7人	
カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)							

<p>(概要)</p> <p>カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p>
<p>(概要)</p> <p>各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要)</p> <p>【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要)</p> <p>担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
79人 (100%)	1人 (1.3%)	50人 (63.3%)	28人 (35.4%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>オンワード樫山、JAL スカイ大阪、四国航空、全日警、ドリームスカイ名古屋、羽田エアポートエンタープライズ、ギャラリーレア、ネクステージ、ヨドバシカメラ、リンツ&シュプルングリージャパン、NEXT STORIES、NSグループ、Suprieve Holdings、アウトソーシングテクノロジー、医療法人誠昌会えさきクリニック、エイジェック、オペレーションファクトリー、コムイノベーション、サザビーリーグアイビーカンパニー、ニチイ学館(神戸)、兵庫信用金庫、ミラエール、ライクスタッフィング、JR西日本交通、FAVORIX beauty、ブランクリニック、WDI JAPAN、ゼンショーホールディングス、近鉄コスモス、鴻池運輸、東京国際エアカーゴターミナル、日航関西エアカーゴ・システム、日本トラフィックサービス、ヒラノ・スカイ・サポート、NOHGA HOTEL KIYOMIZU KYOTO、クロスホテル大阪、スターゲイトホテル、帝国ホテル大阪、ホテルグランヴィア大阪、小城製菓、大阪歯科衛生学院専門学校（進学）</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>就職個別面談、就職関連授業(業界研究、ES・筆記・面接対策、他)、各種ガイダンス、空港・施設見学、eラーニング説明会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会、受験サポート、ビジネスマナー他</p>			
<p>(主な学修成果(資格・検定等))</p> <p>実用英語技能検定(準1級) 1名、実用英語技能検定(2級) 13名、実用英語技能検定(準2級) 10名、サービス接遇検定(2級) 2名、TOEIC (600点以上) 27名</p>			
<p>(備考) (任意記載事項)</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
127人	8人	6.3%
(中途退学の主な理由) 学力不振、進路変更、体調不良、意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者（来校、TEL）会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	アジア言語学科 韓国語コース（新） アジア言語コース（旧）	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,710 単位時間/単位	1,800 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1,800単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		92人	0人	4人	10人	14人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
58人 (100%)	4人 (6.9%)	42人 (72.4%)	12人 (20.7%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>iDA、Mother's Industry、ニチイ学館、全日警、にしけい、日ノ丸自動車（鳥取空港）、Arcjem イオンモール福岡伊都店、Gold Star、プリモ・ジャパン、まんだらけ、社会福祉法人ラポール会、DISCOVERY SUPPOT、Suprieve Holdings、青木商店、イトマンスイミングスクール、エイジェック、ライクスタッフィング、辻野歯科医院、LAULE'A、クリアボディワークス、ビューティ・ミッション(ザ・フェース)、鴻池運輸、日航関西エアカーゴ・システム、日本通運、ヒラノ・スカイ・サポート、ANA クラウンプラザホテル神戸、エフ・ジェイホテルズ、京阪ホテルズ&リゾーツ、シェラトン都ホテル大阪、デュシタニ京都、ヒルトン福岡シーホーク、プレミアムホテル-CABIN-大阪、ホテル日航姫路、都ホテル京都八条、神戸トアロードホテル山楽、大阪産業大学（進学）、慶北大学（進学）、建国大学（進学）、韓国外国語大学（進学）</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職個別面談、就職関連授業（業界研究、ES・筆記・面接対策、他）、各種ガイダンス、ホテル施設見学、eラーニング説明会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会、個別面談、受験サポート、ビジネスマナー、韓国大学編入指導他</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>実用英語技能検定（準1級）1名、実用英語技能検定（2級）2名、実用英語技能検定（準2級）7名、TOEIC（600点以上）4名、韓国語能力試験（1級）2名、韓国語能力試験（2級）52名、韓国語能力試験（3級）15名、韓国語能力試験（4級）15名、韓国語能力試験（5級）18名、韓国語能力試験（6級）8名、「ハングル」能力検定試験（準2級）5名、「ハングル」能力検定試験（3級）2名、「ハングル」能力検定試験（4級）1名、サービス接遇検定（準1級）1名、サービス接遇検定（2級）15名</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
118人	11人	9.3%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更、意欲低下、学力不振、体調不良、その他</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	語学・ビジネス専門	国際キャリア学科 海外インターンシップコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2, 565 単位時間/単位	2,220 単位時間/単位	480 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2, 700 単位時間/単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
64人	22人	0人	3人	3人	6人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	0人 (0%)	18人 (94.7%)	1人 (5.3%)
（主な就職、業界等） ANA 沖縄空港、JAL スカイ、JAL スカイ大阪、スカイマーク、にしけい、日ノ丸自動車（米子空港）、フェイラー・ジャパン、ヒラノ・スカイ・サポート、HOTEL THE MITSUI KYOTO、欽山、ハイアットリージェンシー大阪、ホテルグランヴィア京都、ミリアルリゾートホテルズ、リゾートトラスト			
（就職指導内容） 就職個別面談、就職関連授業（業界研究、ES・筆記・面接対策、他）、各種ガイダンス、空港・施設見学、eラーニング説明会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会、個別面談、受験サポート、ビジネスマナー他			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定(2級) 1名、TOEIC (600点以上) 22名、サービス接遇検定(準1級) 2名、サービス接遇検定(2級) 2名、アマデウスシステム検定試験(specialist) 2名、			

マナー・プロトコール検定(3級)名、ユニバーサルマナー検定(2級) 12名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
41人	1人	2.4%
(中途退学の主な理由) 意欲低下		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	国際キャリア学科 国際エアラインコース	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,565 単位時間/単位	2,640 単位時間/単位	60 単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位	単位時間/単位
			2,700単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
132人		60人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
(概要) 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
(概要) 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等

(概要) 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HR を活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) ANA 大阪空港、ANA 沖縄空港、JAL スカイ、JAL スカイ大阪、空港ターミナルサービス スカイマーク、羽田空港サービスグループ、ラルフローレン、欽山			
(就職指導内容) 就職個別面談、就職関連授業(業界研究、ES・筆記・面接対策、他)、各種ガイダンス、空港・施設見学、eラーニング説明会、インターンシップ、学内企業説明会/選考会、個別面談、受験サポート、ビジネスマナー他			
(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(準1級) 3名、実用英語技能検定(2級) 17名、TOEIC (600点以上) 32名、サービス接遇実務検定(準1級) 17名、サービス接遇実務検定(2級) 19名、アマデウスシステム検定試験(specialist) 21名、ユニバーサルマナー検定(2級) 22名、マナー・プロトコール検定(2級) 1名、マナー・プロトコール検定(3級) 17名			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
68人	1人	1.5%
(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士				
文化・教養	語学・ビジネス専門	国際キャリア学科 グローバル英語コース	○					
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類					
			講義	演習	実習	実験	実技	
3年	昼間	2,565 単位時間/単位	2,700 単位時間/単位	0 単位時間/単位				
			2,700 単位時間/単位					

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
89人	57人	0人	3人	3人	6人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 2021年4月開講のため実績なし			
（就職指導内容） 2021年4月開講のため実績なし			
（主な学修成果（資格・検定等）） 実用英語技能検定（準1級）1名、実用英語技能検定（2級）1名、TOEIC（600点以上）11名			
（備考）（任意記載事項） 完成年度前（1・2・3年次在籍）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33人	8人	24.2%

(中途退学の主な理由) 意欲低下、進路変更、体調不良
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		語学・ビジネス専門	国際キャリア学科 国際ホテルコース	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2,565 単位時間/単位	2,700 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			2,700 単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
46人		17人	0人	3人	6人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） カリキュラムポリシーに基づいて、授業内容、到達目標、成績評価方法を設定し、科目ごとの年間授業計画を立てている。
成績評価の基準・方法
（概要） 各科目の単位認定は、以下の基準を全て満たすことで行う。 授業出席率が75%以上であること。総合評価点が60点以上であること。
卒業・進級の認定基準
（概要） 【卒業の要件】 卒業該当学年の各コースに設定された単位のうち、56単位を修得しているものに対して、学年末に卒業判定会議を開催し、学校長が卒業を認定する。 【進級の要件】 進級該当学年の各コースに設定された単位のうち、58単位を修得しているものに対して、学年末に進級判定会議を開催し、学校長が進級を認定する。
学修支援等
（概要） 担任面談、保護者会、電話等による個別指導、HRを活用した全体指導、学生相談室常設

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)

(主な就職、業界等) 2022年4月開講のため実績なし
(就職指導内容) 2022年4月開講のため実績なし
(主な学修成果(資格・検定等)) 実用英語技能検定(2級)1名、TOEIC(600点以上)1名、サービス接遇実務検定(準1級)7名、サービス接遇実務検定(2級)9名、Excel表計算処理技能認定試験(3級)9名
(備考)(任意記載事項) 完成年度前(1・2年次のみ在籍)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
8人	0人	0%
(中途退学の主な理由) 該当なし		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任による個人面談、出席管理、保護者会実施、欠席補講制度、学生アンケートの実施、学生相談室との連携		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料(年間)	その他	備考(任意記載事項)
グローバル	80,000円	960,000円	190,000円	
エアライン	80,000円	960,000円	190,000円	
国際ビジネス	80,000円	910,000円	190,000円	
こども教育研究	80,000円	860,000円	190,000円	
国際キャリア	80,000円	960,000円	190,000円	
アジア言語	80,000円	960,000円	190,000円	
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/kokusai-self.pdf

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

本校の「学校評価実施規定」に学校関係者評価について以下のように定めている。

（学校関係者評価）

第 11 条 校長は自己評価の結果を本校の関係者により組織した学校関係者評価委員会（以下「関係者委員会」という。）

に報告し、意見を聴き、その意見を尊重し、教育活動及び学校運営に活用しなければならない。

（関係者委員会の構成）

第 12 条 関係者委員会は、次に掲げる区分から校長が委託する委員により構成する。

(1) 関連業界等関係者 2 名以上 (2) 卒業生 1 名 (3) 保護者または地域関係者 1 名 (4) その他校長が必要と認める者 1 名

2 委員の任期は、2 年とする。ただし再任を妨げない。

（関係者委員会の運営）

第 13 条 関係者委員会に委員長を置く。

2 関係者委員会は、校長が招集し、委員長がその運営にあたる。

3 校長が必要と認める場合は、関係者委員会に委員以外の者の出席を求めることができる。

4 関係者委員会は、委員の過半数が出席しなければ開会することができない。

5 関係者委員会は、自己評価の進捗状況に応じ次年度の計画策定までの間に開催しなければならない。

（報酬及び費用弁償）

第 14 条 関係者委員会の報酬及び費用弁償については、本校が定める基準により支払う。

（学校関係者評価の評価結果）

第 15 条 委員長は、関係者委員会による評価結果をまとめ、報告書を作成しなければならない。

（学校関係者評価の活用）

第 16 条 教職員は、学校関係者評価の結果を活用し、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上に継続的に努めなければならない。

（学校関係者評価結果の報告）

第 17 条 校長は、学校関係者評価結果を理事会に報告しなければならない。

（学校関係者評価結果の公表）

第 18 条 校長は学校関係者評価結果について公表しなければならない。

（その他）

第 19 条 本規定に定めるもののほか本校の学校評価に関し必要な事項は、校長が別に定める。

本校ではこの「学校評価実施規定」に則り、年間 1～2 回、学校関係者評価委員会を開催、学園ホームページ上に公開している。

【主な評価項目】

(1) 教育理念・目標

- ・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか
- ・学校における職業教育の特色は何か
- ・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
- ・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
- ・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

(2) 学校運営

- ・目的等に沿った運営方針が策定されているか
 - ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか
 - ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか
 - ・人事、給与に関する規定等は整備されているか
 - ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
 - ・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
 - ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
 - ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか
- (3) 教育活動
- ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
 - ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
 - ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
 - ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
 - ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか
 - ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか
 - ・授業評価の実施・評価体制はあるか
 - ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
 - ・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
 - ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
 - ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
 - ・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか
 - ・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか
 - ・職員の能力開発のための研修等が行われているか
- (4) 学修成果
- ・就職率の向上が図られているか
 - ・資格取得率の向上が図られているか
 - ・退学率の低減が図られているか
 - ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
 - ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか
- (5) 学生支援
- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
 - ・学生相談に関する体制は整備されているか
 - ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
 - ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
 - ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
 - ・学生の生活環境への支援は行われているか
 - ・保護者と適切に連携しているか
 - ・卒業生への支援体制はあるか
 - ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
 - ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか

(6) 教育環境

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

- ・防災に対する体制は整備されているか

(7) 学生の受入れ募集

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

(8) 財務

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

(9) 法令等の遵守

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

(10) 社会貢献・地域貢献

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか

(11) 国際交流

- ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか
- ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- ・留学生の学修・生活指導について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

【評価結果の活用方法】

- ・学校関係者評価委員会で協議した内容や課題については学内の全教職員間で共有するしくみづくりを実践した。そのうえで下記の取り組みを継続する。
- ・人材育成目標やビジョンを明確化し、教職員、学生間において共有をはかる。
- ・英語力、人間力の向上を目指し、企業様と連携のうえ特色のあるカリキュラムを提供し、3年制コースの内容充実と拡充をはかる。
- ・ICTを活用する環境をさらに整備し、学生の主体的な学びを支援するとともに ICT 教育を推進する。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
株式会社Kスカイ	2021年4月1日～2025年3月31日(2年) 【任期更新】	企業等委員
済美地域社会福祉協議会	2021年4月1日～2025年3月31日(2年) 【任期更新】	地域関係者
高校非常勤講師	2021年4月1日～2025年3月31日(2年)	元大阪府立高校教頭

	【任期更新】	
会社員	2021年4月1日～2025年3月31日（2年） 【任期更新】	学校卒業者
学校関係者評価結果の公表方法 （ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/kokusai-school-2022_01.pdf https://www.ecc.ac.jp/outline/self-evaluation/pdf/kokusai-school-2022_02.pdf		
第三者による学校評価（任意記載事項）		
https://qaphe.com/wp/wp-content/uploads/2021techgraduatesummary.pdf https://qaphe.com/wp/wp-content/uploads/2021techgraduatekokusaiecc.pdf		

c) 当該学校に係る情報

<p>（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）</p> <p>https://kokusai.ecc.ac.jp/</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H127310001192
学校名	ECC国際外語専門学校
設置者名	学校法人山口学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		133人	121人	137人
内 訳	第Ⅰ区分	85人	83人	
	第Ⅱ区分	29人	24人	
	第Ⅲ区分	19人	14人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				137人
(備考) 期間中において1か月でも支援対象となった場合には、途中休退学でも計上。 期の途中における支援対象外判定の場合も年間人数に反映。				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が標準単位数の5割以下）	0人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	-人	-人	-人
「警告」の区分に連続して該当	0人	-人	-人
計	-人	-人	14人
(備考) 退学時実施の適格認定（学業）の結果を含む。家計判定にて支援対象外学生の廃止判定を含む。遡及取消対象者は出席率5割以下の欄に計上。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（2）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（3）退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあつては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	-人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	-人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	-人	11人	-人
計	-人	11人	20人
(備考) 退学時実施の適格認定（学業）、家計判定対象外学生の結果を含む。2回連続警告の場合には廃止に計上し、警告には算入しない。警告事由が複数ある場合、①修得単位、②GPA、③出席率の順に数値を入力しています。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。